

# Epistula

エピストウラ … epistula,ae,f. 手紙、文章【ラテン語】

vol. 20

2010.7 [Jul] - 9 [Sep]

## 保護者との「進路相談会」を開催

— “参加してよかった” の声。“開催時期を早く” の声も —



5月15日(土)の午後、学科2年生と専攻科2年生の保護者(ご家族)を対象に「進路相談会」を開催。全学で170名(141家族)の保護者の方々が参加されました。

2年前の世界同時不況以降、大学・短期大学生の就職は、大変きびしいものがあります。本学の21年度卒業生の就職内定率は、最終的には学科平均で88.3%に達しましたが、学生たちはなかなか内定をもらえず、苦戦を強いられました。

このような状況に立ち向かうには、大学と保護者とが緊密な連携をとり、学生への進路支援を行う必要があると考え、本

学では初めて、保護者との「進路相談会」を行いました。まず全体会では、中山学長あいさつの後、本学の進路支援体制や昨年度の進路状況(就職と進学)を説明。その後、学科ごとに分かれ、学科の進路支援の取り組みを説明し、保護者と教員との相談会をもちました。

会合後のアンケート結果では(回収率71%)、「親として不安なことが相談できてよかった」「就活の難しさと思うと、県外から出てきた甲斐があった」「親子で進路のことをもっと話し合う必要がある」など、参加してよかったという声を数多くいただきました。しかしその一方、「開催時期を早くしてほしい」「先生方と相談する時間をもっとほしい」などの要望もいただきました。この会は、保護者の皆様のお声をお聴きする貴重な機会となりました。寄せられましたご意見・ご要望は、今後の進路支援に活かしてまいります。(進路支援室長 吉山尚裕)

学科別相談会(音楽科)▶



## 大分市中心部で「府内☆学生Ecoフェスタ」開催

本学の学生らが企画・運営した初の地域イベント「2010府内☆学生Ecoフェスタ」(実行委員長・赤池すずか=情報コミュニケーション学科2年)が6月19日、大分市の府内五番街商店街で行われました。大分市や府内五番街商店街などと共催。6月の環境月間にちなみ「エコ」を柱としたイベントで、本学からは約200人の学生が参加しました。

「情報発信」「音楽・映像」など、テーマごとに「ゾーン」が設けられ、地球環境の保護や地域活性化を考えました。

午後7時半すぎ、五番街商店街約400メートルにわたり廃油で作った約3千個のろうそくに一齐に火がともされると、キャンドルは光の列となり商店街は優しい雰囲気になりました。隣接するふないアクアパークでは、「日本一小さな花火大会」として約500本の線香花火の饗宴。参加者が多くて線香花火が足りなくなり、学生スタッフはうれしい悲鳴を上げていました。



## 大分県芸術文化振興会議と友好交流協定を締結

4月2日、県内の様々なジャンルで芸術文化活動に携わる団体、個人により組織される芸術文化団体である「特定非営利活動法人(NPO)大分県芸術文化振興会議」と友好交流に関する協定を締結しました。

本学で行われた調印式では双方から22名が出席。芸術文化振興会議の佐藤朱音理事長と本学の中山欽吾学長が芸術文化の振興促進を目的とする趣旨の協定書にサインしました。芸文短大としては、13機関(団体)目の友好協力協定締結となります。

今年2月から同会議所属の「さくら会(代表・杵屋六絹也)」の方々より、芸文短大の学生(14名)に三味線を指導していただいています。10月3日、大分県民芸術文化祭の開幕行事「長唄・三味線演奏会」にも出演できることになりました。



## 「学長プロジェクト」スタート

5月14日、建築家の中山英之さんをお迎えし、今年度第1回目となる学長プロジェクトとして、『「建築家」ってどんなことをしている?』をテーマに講演が行われました。身近なものから柔軟な発想をいかに紡ぎ出していくかを語った講演は、とても親しみの持てるものでした。

続く第2回学長プロジェクトは、6月8日に前びわ湖ホール館長・上原恵美さん(京都橘大学教授)を迎えて実施しました。『地方で文化の仕事に関わって』をテーマに、女性が仕事を続けるということなどについて講演が行われ、感性豊かな学生たちにとって、非常に有益なものになりました。

### 「学長プロジェクト」今後の予定

- ・9月下旬 前朝倉文夫記念館館長、洋画家 後藤龍二氏
- ・10月16、23日(土) オリジナル織物作家 小坂恵子氏
- ・12月 軽井沢八月祭実行委員会  
チーフ・プロデューサー 岩田美紀氏

スケッチ表現を用いて受講者に語りかける中山英之さん▶



## 大学教育に功績・本学教員に文部科学大臣表彰

短期大学が正式に制度として認められたのが昭和25(1950)年4月。今年には制度が発足して60年になります。全国公立短期大学協会(加盟・本学含む21校)では、短期大学教育60周年を記念して、5月28日、東京都港区の明治記念館で記念式典を開催しました。

そのなかで文部科学省は、短期大学教育にとくに功績のあった31名に大臣表彰を授与しました。

本学からは、音楽科・宮本修教授(声楽)、国際文化学科・染矢正一教授(英語)、情報コミュニケーション学科・凍田和美教授(情報処理)の3人が受賞されました。おめでとうございます。これからも芸文短大の発展にご尽力をお願いします。

写真左から 染矢教授、凍田教授、宮本教授、中山学長▶

